

【記者からの質問】

NBC／石棺墓が、邪馬台国時代と特定できた決め手は？

県職員／吉野ヶ里遺跡では、弥生時代の前期の終わり～終末期、あるいは古墳時代初頭のお墓が多数発見された。甕棺は、弥生時代の前期～後期の前半。その後、土坑墓（素掘りの穴に人間を埋める）が、弥生時代の中期の後半～後期の前半。重なりながら、新しい墓の形式に変遷した過程が判明している。石棺墓は、2世紀後半～3世紀中頃だと推測でき、その大部分が弥生時代の終わり、いわゆる邪馬台国時代に重なる。

NBC／今後の調査のスケジュールや体制変更を検討するのか。

知事／発見された石棺墓の調査が、6月5日から約1週間。その後のことは、これから。これが1番のお墓なのか、もっとほかに何かがあるかもしれない。

県職員／丘の一番見晴らしのよい場所を試掘したところ、石棺墓を発見した。今後、秋にかけて調査を広げる。さらなる発見があるかもしれない。

知事／まず、線刻の多さに驚いた。大きなお墓の可能性はある。今後の発掘で、未知なるものが出てくる可能性はある。

佐賀新聞／当初は、9月に発掘再開の予定だった。6月5日から開口とは、前倒して発掘調査をするということか。

県職員／予定は、一般公開が6月2日まで、作業は6月中旬までと決まっていた。スケジュール変更ではない。それまで、ほかの部分も含め、粛々と発掘調査を実施する。9月からは、周辺の調査範囲を広げていく。

知事／今回は事前レクチャーとして、おおまかな説明をした。興味深い発掘が始まるので、関心を持ってほしい。現場の警備は、厳重にする。その対応へのご理解をお願いする。

NHK／今回は、公開しながらの発掘調査。どのような形で、この現場を多くの人に見てほしいのか。

知事／SNSも活用したい。発掘に関心を持ち、現場を訪れてもらえるようにしたい。このような試みは、皆さんの理解があつてうまくいく。そうでなければ、行政が自分たちだけで守秘的にやる形になってしまう。それは、文化財の世界にとってもよくない。ぜひ、皆さんのご支援を、という思いで取り組みを始めた。

STS／日吉神社の跡地は、全体が高い。その中で、特に高い場所で石棺が見つかったのか。

県職員／甕棺墓列の先に、日吉神社境内跡地がある。その境内跡地に丘陵が延びている。

日吉神社は、その丘陵の先端、その中の標高 26m の小高いところの高い部分、ちょうど等高線が丸まっている場所にあった。そこで、石棺が発掘された。

知事／魏志倭人伝に出てくるクニは、畿内説と九州説があり議論が尽きない。ここに何かのヒントがあるかもしれない。そんな期待感を共有してほしい。